

新たな役割で再スタート

宗像・大島「さざなみ館」

平成20年9月1日から休館していた「ふれあい交流施設・さざなみ館」が、5月1日から食堂など交流機能を併せ持つ「大島地区コミュニティ・センター」として再スタートします。

コミュニティ・センターは、地域のコミュニティ活動の拠点として、地域住民の交流の場となる施設です。

また、島外からの観光客も利用できる食堂は、7月から再開を予定。食堂に関する詳しい情報は、後日お知らせします。

*温浴施設（風呂）は、引き続き当分の間休業します

- 休館日
- ▽毎週火曜日
- ▽8月13日～15日
- ▽12月28日～翌年1月4日
- 開館時間 9:00～21:00
- 使用料（4時間当たり）



新たなスタートを切る「さざなみ館」

区分	用途	使用料
会議室（A・B）	各種会議、サークル活動	各360円
和室	囲碁、将棋、華道など	360円
多目的ホール（A・B）	各種講演会、ダンスなど *A室は、食堂と兼用	各520円
調理室	料理教室など	360円

*空調、照明などの利用時は、別途実費が必要

問い合わせ先

▽さざなみ館（大島地区コミュニティ運営協議会） ☎(72) 2321
▽コミュニティ課 ☎(36) 5394

平和を伝えていきたい 「被爆ピアノコンサート」



ピアノを演奏したみなさん

県内で初めて、大島への原爆投下で被爆したピアノの平和コンサートが3月21日、赤間地区コミュニティ・センターで開かれました。舞台上に、千羽鶴と過酷な歴史の証人「ミサコのピアノ」が置かれ、厳粛な雰囲気の中で演奏がスタート。来場者250人が、平和の音色や尊厳をかみしめました。

小・中学生ら5人も演奏に参加。リズムカルな演奏や力強い演奏に、感動の輪が広がりました。参加した小野奈奈さん（自由ヶ丘中1年）は、「タッチが軽くて弾きやすかったけれど、ピアノの傷を見て戦争の恐ろしさを感じました」。

2年前、大島へ平和の旅に出掛けたコンサート実行委員会代表で元教員の神野正子さん（63歳、赤間）。「ミサコのピアノ」の絵本と出会い、矢川さんの活動に感激。公演を依頼し、今回のコンサートが実現しました。「周りの人と一緒に、これからも平和を訴えていきたい」と神野さん。77歳になったピアノが奏でる明るい音色。改めて、平和を考える取柄となりました。（市民記者 岩元賢一）

問い合わせ先 赤間地区コミュニティ運営協議会 ☎(32) 5640



関係者の思いが詰まった「ふるさと安心の家」

住宅「ふるさと安心の家」の完成式が3月25日、関係者70人が参加して開かれました。



住宅都市「宗像」を活性化 「ふるさと安心の家」オープン

近年、市内でも少子高齢化の影響で、高齢者のみの住宅や空き家、空き地の増加などの問題が表面化しています。そこで、安心できる住宅の提供や住生活の支援・確保を目指す市民公益活動団体「住マイむなかた」が、若年者世帯が建てたいと思うような住宅建設を計画し、「ふるさと安心の家」として提案。国土交通省採択の県地域住宅モデル普及推進事業として建てられました。

「住マイむなかた」の基本理念は「市民協働」。計画段階から、住宅関連事業者だけでなく、子育てや福祉、防犯や消費者支援団体などと意見交換を重ねてきました。また、建設資材には、多くの地元建材を使うなど、地域振興にも配慮。建設場所の赤間地区を考慮して、赤間宿の伝統的な住宅景観を意識した外観にもこだわりました。

- 代表の小川裕一さん（60歳・自由ヶ丘）は、「みなさんの協力で、完成の日を迎えることができました。この家を実際に見て、触れて、家の良さと市の住みやすさを実感してほしい。住宅都市・宗像の活性化につながるような家になることを願っています」と話してくれました。
- 「モデルハウス見学会」
 - 期間 夏季休日指定日と年末年始を除く毎日
 - 時間 午前10時～午後4時
 - 住所 赤間3丁目102番地5
 - 予約方法 平日の見学を希望する場合は、住マイむなかた ☎(37) 2525へ電話で予約する
 - *土・日曜日、祝日は住スタッフが常駐のため予約不要
 - *詳しくは問い合わせを
 - 問い合わせ先 住マイむなかた ☎(37) 2525
 - 建築課 ☎(36) 5203

島の活性化を期待 V字型航路を試験運航

市では、大島、神湊、地島を結ぶ「V字型航路」を設定。2月25日から7日間、試験運航を実施しました。今後は、利用者アンケートを分析し、渡船事業運営審議会などで航路の見直しを検討します。



大島、神湊、地島を結ぶ「V字型航路」

試験運航初日の25日、この日を待ちわびていた地島の豊岡区長・大江秀一さん、泊区長・壹岐元彦さんら10人が、船で神湊に到着。鎮国寺や道の駅などを訪れ、楽しく半日を過ごしました。「将来、フェリーも就航すれば、観光客も増え、島の活性化が期待できます」と話していました。

また、大島では、「おいしい魚料理を食べにきました」という年配のグループや、「福岡市から仕事で大島にきましたが、地島にも行くことがあるので、神湊からの船便があれば歓迎です」と言う若者もいました。

7日間の乗降客は、大島・神湊間162人、神湊・地島間70人の合計232人。アンケートの結果、渡船利用では「週1～2日」がトップ。利用目的では、大島、地島側とも「買い物」「通院」「人に会うため」「通勤・通学」、神湊側からは「出張」が多くありました。

また、課題として、神湊・地島間では、「現在の鐘崎発着と比べ、運航時間が長くなり運賃が上がる」「赤間駅直行のバスが神湊にない」「地島の待合室が狭く、船着き場が遠い」などが指摘されました。

大島側からは、「船便の数を増やしてほしい」「最終便をもう少し遅くしてほしい」「渡船は本土への重要な交通手段。必要な人たちが不便にならない事業運営を願う」など切実な要望が多く挙がっていました。（市民記者 原きよし）

問い合わせ先 渡船課 ☎(36) 0026

好評発売中！ 広告主を募集 広報紙とホームページ

市では、平成18年10月から市の広報紙とホームページに有料広告を掲載しています。あなたも広告を出してみませんか。

◎広告の規格と掲載料（このほかにも1/3ページ、1/2ページ、1ページの規格があります）

規格	広告の大きさ	料金(1ヶ月につき)	色数
広報紙	1号 縦 5.9cm 横 12cm	1枠当たり 20,000円	白黒1色
	2号 縦 5.9cm 横 24cm	1枠当たり 36,000円	白黒1色

※1年間に12号以上掲載を希望する場合は10%、6号以上掲載を希望する場合は5%を掲載料から割り引き
◎締め切りは掲載希望月の2カ月前

規格	料金(1ヶ月につき)
ホームページ	トップページ 15,000円 トップページ外 10,000円

市では今後、印刷物などにも有料広告を掲載し、蔵入の確保に努めていく予定です。皆さまのご理解と協力をお願いします。

問い合わせ先 情報政策課広報係 ☎(36) 1055

アパートマンション 賃貸空室でお困りのオーナー様へ

朗報 お部屋を貸してください

最長 20年

リフォーム + 一括借上家賃保証

スーパーリフォームパートナー

お問合わせはこちらへ ↓↓↓

☎ 092-482-6565

日本管理センター株式会社 九州支社 www.jpmmc.jp
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-23-22 博多DNビル7階

アバマンショップ赤間店 (0940) 32-6350
一成建設株式会社 (0940) 32-7131

SuperReform スーパーリフォーム